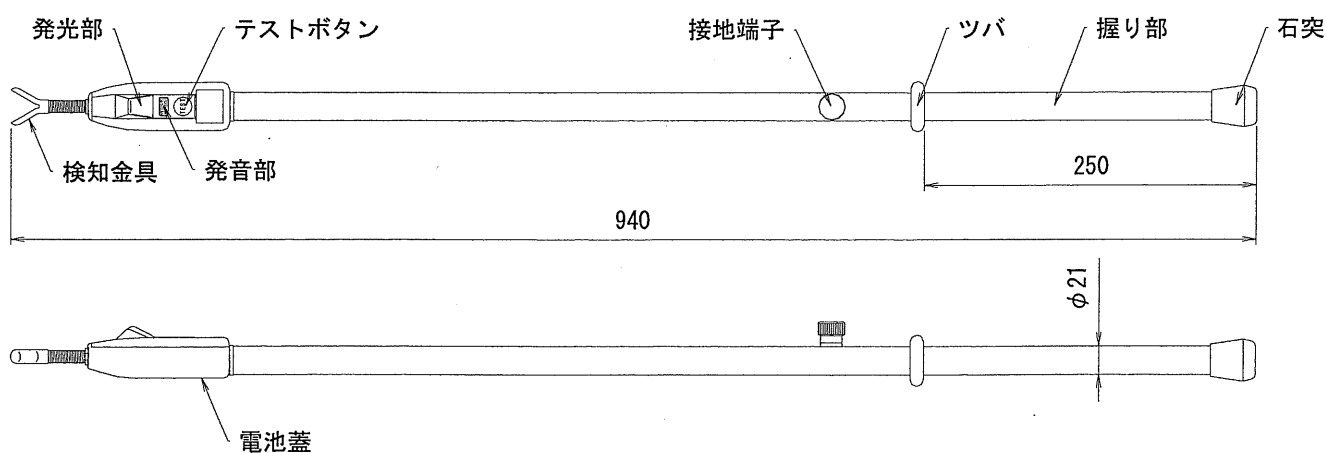


## 交直両用特高用検電器 HST-20N

### ■ 仕 様

型 式	HST-20N
使用電圧範囲	AC/DC 3kV~25kV (裸線専用)
動作開始電圧	AC/DC 1000V±20%
耐 電 圧	先端金具—接地端子間 AC50kV—1分間
定格周波数	50/60Hz共用
漏 洩 電 流	耐電圧試験時の漏洩電流 0.5mA以下
発 光	8000Lxの明るさの中で確認可能
発 音	音量 2m離れて50dB以上
防滴構造	降雨量3mm/min-10分間にて検知部内部に有害な水が入らない
使用電池	LR44(1.5V アルカリ電池) 2個
電池寿命	連続動作で約4時間(但し, 出荷時にセットしている電池は動作確認用でありこの限りではありません)
使用温度範囲	-10°C~+40°C
付 属 品	収納袋, 接地線7m

### ■ 外形寸法及び各部の名称



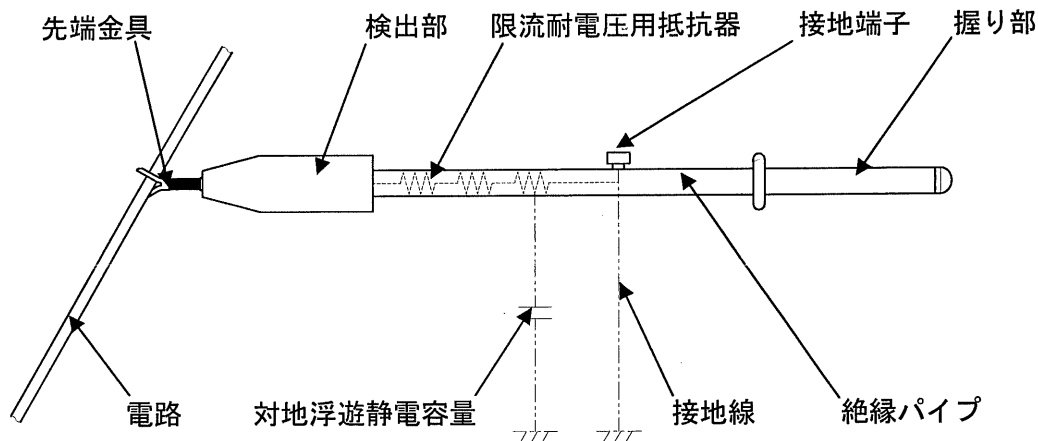
## ■製品概要

本器は交流又は直流回路の検電に用いるもので、回路と大地間の電圧を検出し、音と光により回路の充電の有無を表示します。

## ■特 徴

1. 音と光で動作表示しますから、明るい場所や雑音の多い場所でも確実に検電することができます。
2. 電源の入切のスイッチは備えていませんので、常時使用待機状態にあります。この状態では回路に電流がほとんど流れず電池は消耗しません。動作状態のときのみ、回路に電流が流れますので経済的です。
3. 交流直流両用ですから、ケーブルやコンデンサの残留電荷の有無、直流耐電圧試験時の検電もできて非常に便利です。ただし、直流を検電する場合は検電器の接地端子を必ず接地しないと検電できません。交流検電の場合は、接地せずとも検電できます。

## ■動作原理



- ・ 電路に先端金具を接触させると、（先端金具）→（検知部内部回路）→（限流耐電圧用高抵抗器）→（接地線）→（アース）の経路で電流が流れ、その電流を電子回路で検出増幅し、動作表示灯が点灯し、発音体が音響を発して電路が充電状態であることを表示します。
- ・ 交流の場合は、（接触金具）→（電子回路）→（限流用耐電圧抵抗器）→（対地浮遊静電容量）→（アース）の経路で電流が流れるため、接地線がなくとも動作します。

## ■使用方法

### 検電の前に

- ①外観, 構造に異常がないか点検してください。異常が見つかった場合は, 使用しないでください。
- ②検電前にテストボタンを押して発音, 発光状態を確認してください。  
動作しないとき, 発音, 発光が弱いときは電池を取り替えてください。
- ③「TEST」は, 電池等のチェックで検電器の試験ではありませんので検電器試験器や既知の電源で動作を確かめてください。(使用前点検: 労働安全衛生規則第352条)

### 検電作業

- ①本器はMax25kVまでの特高用検電器です。  
25kVを超える電路に対しては, 危険ですから絶対に使用しないでください。
- ②検電中は握り部以外の場所にふれないように注意してください。  
感電の恐れがあります。
- ③対象電路にあった検電方法を行ってください。
  - ・直流電圧を検電する場合は, 接地端子を付属接地線で接地してください。  
接地をしないと検電できません。
  - ・交流を検電する場合は, 接地せずとも検電できます。

## ■電池の取替え方法

- 発光が異常に暗くなったとき, またはテストスイッチを押しても発音発光しないときには新しい電池に交換してください。
- 電池はLR44 (1.5V) 2個です。  
※付属の電池は動作確認用です、早めの交換をお勧めします。
- 電池フタをコインなどで回転させてフタを外し, マイナスドライバで電池側面を押し上げてください。
- 表示してある極性⊕⊖をよく確認して, 2個とも交換してください。  
極性を逆に入れますと動作しないばかりでなく電池の漏液等故障の原因になります。

## ■保守・保管時の注意

- 夏期の路上，自動車の中等，高温になる場所に置かないでください。
- 落下，下敷き等，衝撃や強い力が加わらないようご注意ください。
- 薬品等では拭かないでください。拭くときは，やわらかい清潔な乾いた布などで拭くようにしてください。
- 冬期，屋内外の温度差が大きいとき，内部が結露する事がありますので，内部に水が附着していないか注意してください。内部に水が附着していると思われる場合は，使用を取りやめ屋内の乾いた場所で十分乾燥させてください。
- 保管する場所は，直射日光の当たらない，屋内の乾燥した所を選んで保管するようにしてください。
- 半年に1回程度，耐電圧試験装置により定期自主点検を行ってください。
- 長期間使用しない時は，電池が漏液して本器の故障の原因となりますので，電池は取り外して保管してください。
- 本器を廃棄される場合は，産業廃棄物として処分してください。また電池交換された場合，古い電池は新しい電池を購入した販売店の「ボタン電池回収箱」に返却してください。リサイクルにご協力をお願いします。

### 関連規格

労働安全衛生規則 第352条 （電気機械器具等の使用前点検等）

## ■保障について

本製品は，ご購入後，1年間保証です。

保証期間中に正常な使用状態で，万一故障等が生じた場合には無償で修理いたします。

（電池などの消耗品の交換，補充は保証外）

但し，この保証は日本国内のみとさせていただきます。

（注）改良のため仕様を若干変更することがあります。

本器の分解・改造はしないでください。分解・改造により生じる一切の事故には責任を負いかねますのでご了承ください。

## 長谷川電機工業株式会社

本社・工場 〒661-0976 尼崎市潮江5-6-20 TEL 06(6429)6144